

気候変動の影響評価と適応策の方向性について（たたき台）

1 気候変動影響評価について

- 国は、気候変動が我が国にどのような影響を与えうるのかについて、科学的知見に基づき、全7分野71項目を対象として、影響の程度、可能性等（重大性）、影響の発現時期や適応の着手・重要な意思決定が必要な時期（緊急性）、情報の確からしさ（確信度）の3つの観点から評価を行っています。（表中「国の評価結果」）
- 福岡県の気候変動影響評価は、国の気候変動影響評価報告書に示す評価結果を参考にするとともに、影響資料の有無、県民の生活や事業活動への影響の大きさをもとに「重要度」の評価を予定しています。
- この評価は、適応行動の担い手である各主体（県民、事業者、行政）が気候変動影響の把握や適応策の検討等の際に一指標として活用されることを想定しています。

表 気候変動影響評価報告書の気候変動影響評価結果と福岡県の重要度

国の評価結果		福岡県の重要度
重大性 ●：特に重大な影響が認められる ◆：影響が認められる -：現状では評価できない	緊急性、確信度 ●：高い ▲：中程度 ■：低い -：現状では評価できない	◎：福岡県または九州の影響資料があり、県民の生活や事業活動への影響が大きい ○：県民の生活や事業活動に影響がある -：現時点で評価できない ×：該当しない

国の気候変動影響評価報告書に示す評価結果

分野	大項目	小項目	国の評価結果			備考
			重大性	緊急性	確信度	
農業・林業・水産業	農業	水稻	●	●	●	
		野菜等	◆	●	▲	
		果樹	●	●	●	
		麦、大豆、飼料作物等	●	▲	▲	
		畜産	●	●	▲	
		病虫害・雑草等	●	●	●	
		農業生産基盤	●	●	●	
		食料需給	◆	▲	●	
	林業	木材生産（人工林等）	●	●	▲	
		特用林産物（きのこ類等）	●	●	▲	
	水産業	回遊性魚介類（魚類等の生態）	●	●	▲	
		増養殖業	●	●	▲	
		沿岸域・内水面漁場環境等	●	●	▲	

分野	大項目	小項目	国の評価結果			備考	
			重大性	緊急性	確信度		
水環境・水資源	水環境	湖沼・ダム湖	●				
		河川	◆	▲	▲		
		沿岸域及び閉鎖性海域	◆	▲	▲		
	水資源	水供給（地表水）	●	●	●		
		水供給（地下水）	●	▲	▲		
		水需要	◆	▲	▲		
	自然生態系	陸域生態系	高山・亜高山帯	●	●	▲	
自然林・二次林			◆	●	●		
里地・里山生態系			◆	●	■		
人工林			●	●	▲		
野生鳥獣の影響			●	●	■		
物質収支			●	▲	▲		
淡水生態系		湖沼	●	▲	■		
		河川	●	▲	■		
		湿原	●	▲	■		
沿岸生態系		亜熱帯	●	●	●		
		温帯・亜寒帯	●	●	▲		
海洋生態系		海洋生態系	●	▲	■		
その他		生物季節	◆	●	●		
		分布・個体群の変動	●	●	●		
生態系サービス		—	●	—	—		
		流域の栄養塩・懸濁物質の保持機能等	●	▲	■		
		沿岸域の藻場生態系による水産資源の供給機能等	●	●	▲		
		サンゴ礁による Eco-DRR 機能等	●	●	●		
		自然生態系と関連するレクリエーション機能等	●	▲	■		
自然災害・沿岸域		河川	洪水	●	●	●	
			内水	●	●	●	
		沿岸	海面水位の上昇	●	▲	●	
			高潮・高波	●	●	●	
	海岸浸食		●	▲	●		
	山地	土石流・地すべり等	●	●	●		
	その他	強風等	●	●	▲		
	複合的な災害影響	—					
健康	冬季の温暖化	◆	▲	▲			

分野	大項目	小項目	国の評価結果			備考
			重大性	緊急性	確信度	
	暑熱	死亡リスク等	●	●	●	
		熱中症等	●	●	●	
	感染症	水系・食品媒介性感染症	◆	▲	▲	
		節足動物媒介感染症	●	●	▲	
		その他の感染症	◆	■	■	
	その他	温暖化と大気汚染の複合影響	◆	▲	▲	
		脆弱性が高い集団への影響（高齢者・小児・基礎疾患有病者等）	●	●	▲	
その他の健康影響		◆	▲	▲		
産業・経済活動	製造業	—	◆	■	■	
	食品製造業		●	▲	▲	
	エネルギー	エネルギー需給	◆	■	▲	
	商業	—	◆	■	■	
	小売業		◆	▲	▲	
	金融・保険	—	●	▲	▲	
	観光業	レジャー	◆	▲	●	
		自然資源を活用したレジャー業	●	▲	●	
	建設業		●	●	■	
	医療		◆	▲	■	
	その他	海外影響	◆	■	▲	
		その他	—	—	—	
国民生活・都市生活（県民生活）	都市インフラ、ライフライン等	水道、交通等	●	●	●	
	文化・歴史などを感じる暮らし	生物季節・伝統行事・地場産業等	◆	●	●	
			—	●	▲	
その他	暑熱による生活への影響等	●	●	●		

※重大性の欄が上下に分かれているものは、気候シナリオの違いによる評価結果を示しています。

上段：RCP2.6及び2℃上昇相当 下段：RCP8.5及び4℃上昇相当